発行　岐阜市

常磐校区 通学路安全対策ワークショップ

Vol. 1

第１回ワークショップを開催(7/13)

常磐校区で第１回通学路安全対策ワークショップを開催

第１回
通学路安全対策
ワークショップ

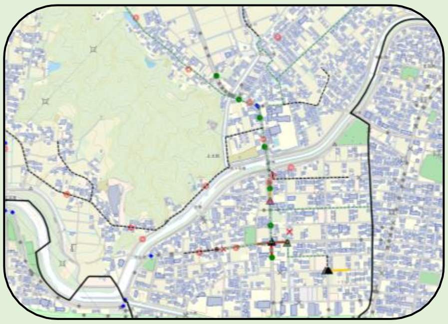
第１回通学路安全対策ワークショップ

令和６年７月13日（土）の午後2時００分より、常磐公民館において第１回通学路安全対策ワークショップを開催しました。参加者は、PTAと自治会などの方々です。

ワークショップに先立ち説明会を実施し、参加者の皆さまには、事前に危険箇所を聞き取りするなどの準備をいただき、ワークショップが円滑に進行できました。

「危険箇所の見える」化地図

車両走行データ、交通事故統計データ、
事故発生リスク評価を重ね合わせた
「危険箇所の見える化」地図をご覧いただき
様々な立場の参加者の皆さまから、
通学路の危険箇所について**積極的に発言**いただき
活発な話し合いが行われました。



▲「危険箇所の見える化」地図

▼ A テーブルでの話し合い

▲Bテーブルでの話し合い

通学路の安全対策の検討

通学路の安全対策について、
様々なハード・ソフト対策の事例を
参考に**具体的な対策案を検討**して
いただきました。

▲Cテーブルでの話し合い

通学路安全対策ワークショップの様子

説明会
5/30にワークショップの事前の説明会を開催しました。

雰囲気
チームワークがよく、充実したワークショップとなりました。

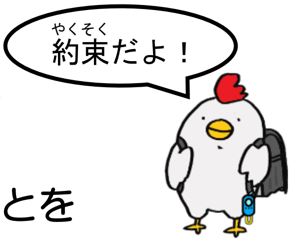
意見交換
皆さん積極的に活発な意見交換をしました。

DX
モニターやタブレットを使用しDXを推進

共有
各テーブルの危険箇所を発表して参加者全員で共有

交通安全ニュース

交通事故に気を付けてね！



みなさんが交通事故に遭い、怪我をしないために４つのことを約束してくださいね。

①道路や駐車場など、車がたくさん走る場所では絶対に飛び出さない！

②車がたくさん走る道路では、信号がある横断歩道を渡る！

③道路を渡る前には、しっかりと右・左・右を確認する！

④自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶる！

ワークショップで挙げられた通学路危険箇所（常磐校区）

A～Cテーブルで挙げられた危険箇所

箇所	危険要因	箇所	危険要因
A1	一方通行の道路を逆走する車がいる。	B5	信号がなく、トンネルを抜けて勢いよく左折してくる車がいる。
A2	車がスピードを出す。白線（路側線）がない。	B6	交通量が多い。歩道と車道が近い。ガードレールがない。
A3	通行量が増加した抜け道。カーブミラーが見えなくなっている。	B7	通学路だが車が多い。通学路だとわからない。
A4	カーブが危ない。車が住宅街に入って、高富方面へ抜けていく。南進車が速度を出し、曲がり切れずガードレールに接触する事故があった。東側の植栽（低木）で横断歩道を待つ子ども（北側）が見えない。	B8	南進する車がスピードを出しており、横断者が危ない。
A5	見通しが悪く、道もかなり狭い。	C1	道が狭く、カーブしているため、見通しが悪い。
A6	交差点の整備をして欲しい。	C2	道が狭く、見通しが悪い。
A7	親水公園。水路の一部分の転落防止柵がない。	C3	橋の上。歩道と車道の距離が近く不安を感じる。
A8	くの字型に三叉路が曲がっており、見通しが悪い。	C4	カーブミラーがあるが、スピードを出す車が多い。 抜け道であり、交通量が多い。
B1	木、竹、草が茂り、歩道が暗い。左折時間規制の標識が隠れてしまっている。	C5	スピードを出す車と急ブレーキをする車が多い。
B2	抜け道になっており、農道へ車が入る。交通量が多い。	C6	建物があり、見通しが悪い。
B3	北側の歩道の草が低学年の子どもの背丈まで茂り、子どもが隠れて見えない。	C7	交通量が多い。道が狭い。
B4	車のスピードが出ていて危ない。	C8	堤防道路へ続く道。急に道が狭くなる。抜け道になっていて、スピードを出している車が多く、事故が多い。

次回ワークショップでは、上記の中から**優先順位をご検討**いただき、**対策実施箇所を絞り込み**ます。

岐阜市基盤整備部道路建設課
☎(058)214-2191